

楽しく合格させる方法のシリーズ その2

合格させなければ、全ての努力が水の泡になる

- ※ 本シリーズの「その1」を配信した所、反響が続々と弊社に寄せられた。その反響は大きなもので、現在抱えている受験者に対する教育効果の無さを認めて、すぐ様に、「到達度試験」の参加申し込みをした機関が、5件以上もあった。
- ※ この申込者の特徴は、今までの教育指導体制を見直して、途中からの参加者だったことだ。

- ※ さらに、本年度の新規受け入れ機関からも、12月入職から参加したい旨の予約申し込みが、複数あったことは弊社の関係者も驚いた。
- ※ E P A受け入れは、既に10年間が経過している。前述の動きは、受け入れ経験がある機関の中で、「今までの教育指導の在り方を見直す」動きが、全国的に高まっていることを表している。

I、「到達度試験」に参加すると、職員は楽ができる！！

図1 【学習時間の比較図】

A、一般の機関の場合	B、「到達度試験」参加機関の場合
毎日の2時間学習	週1回の3時間の学習
① 1カ月間当たり $2H \times 5 \text{日間} \times 4 \text{週間} = 40H$	① 1カ月間当たり $3H \times 4 \text{週間} = 12H$
② 1年間当たり $40H \times 12 \text{カ月間} = 480H$	② 1年間当たり $12H \times 12 \text{カ月間} = 144H$
③ 3年間当たり $480H \times 3 \text{年間} = 1,440H$	③ 3年間当たり $144H \times 3 \text{年間} = 432H$

【図1AとBの「学習時間量の差」に注目！！】

- 1、「教師でもないのに毎日の指導が重荷」
- A、介護職としての勤務時間が、毎月40時間割られる。
- B、日本語教育は専門外なので、対応が正確にできない。
- C、1カ月間当たり40時間指導しているが、効果がない。
- 2、「人手不足の中、実践力として使えない」
- A、勤務時間量が少ないため、業務をさせられない。
- B、意思疎通ができないために、指導の理解が遅い。
- C、入職6カ月間では、夜勤勤務ができない。

- 1、「週1回3時間学習のメリット」
- A、勤務時間内の学習は、週3時間以上は設けない。
- B、日本語教育は専門家に任せて、効果を重視する。
- C、業務を習得できるので、任せられる。
- 2、「人手不足の中、実践力として使える」
- A、勤務時間量が多いため、人手不足を解消できる。
- B、意思疎通ができるために、指導の理解が早い。
- C、入職3か月間で、夜勤勤務をさせられる。

II、「到達度試験」参加のメリットは、これだ！！

- 1、「到達度試験」参加者の合格者の特徴
- A、合格しても、すぐに帰国せず、勤務を継続する。
- B、育成した期間内の教育で、長期定着者に育成する。
- C、長期定着者は、機関で責任を果たせる人材となる。
- 2、合格率が高いので長期育成計画が可能（図2参照）
- A、受け入れ人数の80%が、実践的な人材となる。
- B、合格者が後輩を導入する起爆剤となり、安定できる。
- C、受け入れ数が今後の人材数に反映するため、計画できる。
- 3、人材確保が計画的にでき、経営の安定化が可能
- A、合格者が新入職者の指導者となる。
- B、人材確保計画に基づき、合格者が新人採用力を発揮する。
- C、外国人は外国人に任せた人材育成が現実的になる。

図2 【過去3年間の合格率推移表】



※ 「学習時間量が少ないのに、なぜ合格率が高いのか」、「また、大量の学習時間を割き、なぜ合格率が低いのか」この点の違いについて受け入れ機関は真剣に考えるべきだ。【月報57号参照】

Ⅲ、【「到達度試験」の受験者は、楽しんで、合格できる！】

1、【自学能力】が身につくので、いつでもどこでも学習できる

- A、受験者が自発的に学習できるので、言語能力が身につく。
- B、「構文力」が身につくので、過去問題の理解力が深まる。
- C、自学能力が定着すると、国家試験に対する対応能力が身につく。

2、言語能力に合わせた学習ができるので、理解力が深まる

- A、【3か年学習計画】に沿って、「易しいものから難しいものへ」の指導方法で、受験者が負担を感じることなく学習できる。
- B、能動的な言語能力が身につくと、専門語彙や専門知識に対して、積極的に調べたり、質問したりすることで、さらに、理解力が深まる。
- C、日本語学習、並びに受験対策学習に対する負担を感じずに、興味や探求心が旺盛で、【自学能力】がさらに身につく。

3、「暗記するのではなく、理解する」学習姿勢で、国家試験合格能力が身につく

- A、専門語彙に対しては、「漢字分解法」を身につけるので、語彙理解力が高まり、関連語彙も習得できる。
- B、専門語彙が理解できれば、文意、並びに文脈理解力が養われるので、参考書の読解力が身につく、さらに、国家試験問題への理解力が深まる。
- C、国家試験対応学習の段階で、合格能力が「数値で把握」できるために、安心して受験に臨める。そして、「暗記する苦痛」がなく、「納得して理解する喜び」を体得できるために楽しんで合格することが可能となる。

図3 【理解力が合格の源】



Ⅳ、【2年目の学習で受験対応能力を、3年目で合格能力を習得する！】

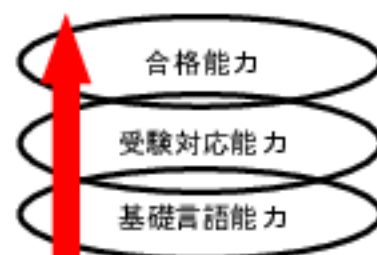
1、合格のために絶対必要な能力は、基礎言語能力だ（図4参照）

- A、国家試験問題を読解するには、基礎言語能力が絶対必要だ。
- B、問題を読解できれば、文意・文脈が分かる。
- C、問題の主旨が理解できれば、自ずと解答ができる。

2、【3か年学習計画】の重要性を認識すること（図4参照）

- A、外国語の習得過程は、「易しいものから難しいものへ」の必然性が必要不可欠だ。この視点で、受験能力を養うことが重要だ。
- B、受験能力を養いつつ、合格能力を高めることが必要だ。
- C、受験能力を養う中で、合格能力を「数値で把握」する教育指導が、絶対必要不可欠だ。

図4【合格する能力の過程】



【月報79号】参照

3、楽しめる受験勉強ができれば、ほぼ合格できる（図5参照）

- A、学習意欲を増進させるためには、日本語並びに、試験問題に対する「興味と関心」を持たせることが重要だ。
- B、「興味と関心」が強まれば、必然的に受験対応能力が養われる。
- C、受験能力が養われれば、必然的に合格能力が身につけられることを、教育指導者は、認識して指導すべきだ。

※ 到達度試験参加者には、2年目後半から受験月にかけて、図5に記した「合格するためのノウハウ」を分かり易く、幾度となく指導する。

図5【確実に合格するためには】

- 1、読解能力が必要不可欠
- 2、試験問題の構成を理解する
- 3、キーワードの基準を理解する
- 4、選択文の文意を理解する
- 5、キーワードと選択文の関連を理解する

Ⅴ、【一般受け入れ機関の苦悩と悩み！】

● 図1【学習時間の比較図】で表した通り、一般の機関の場合は、3年間当たり、1,440時間の学習時間を設けている。

しかしながら、図2【過去3年間の合格率推移表】を見れば、歴然とした教育効果の違いが、明確な数値で表されている。

● EAP 受け入れの成果は全て結果で表される。即ち、国家試験合格ができなければ、即帰国となり、受け入れ機関の人材不足解消に、何ら益をもたらさないことは、周知の事実だ。よって、現場の苦境を直視した打開策が、早急に必要だ。

図6 覚えるだけで精一杯



受験対策中の受験者の声 「作文」で紹介！！

貴機関の受験者と比較してみてください

質問 1、今までの日本語学習と、受験対策学習との違いは、どんなことがあるか？

質問 2、受験対策学習で、最も驚いたことは何か？

質問 3、国家試験に対する考え方や、思いなどが今までと違って、どのように変わったか？

キーワードが分かって、面白いように解ける！！

答え 1、日本語学習より、受験対策学習の方が分かりやすいと思います。日本語学習は文法がたくさんあって、なかなか分からなくて、大変難しかったです。

受験対策学習は、「キーワード」や「勉強の方法」など、また、問題を解くためにどんな準備をするのかを教えてもらって、分かりやすいです。

答え 2、私は、いつも先に選択文を読んでから、次に質問文を読んでいたので、すごく時間がかかりましたが、先生の教えてくれた対策方法で解いてみると、時間があまりかからなくて、驚きました。

答え 3、以前の私は国家試験に合格出来るかどうか不安を抱いていましたが、先生と一緒にスカイプ授業で勉強して、色々教えて頂き、また、私のスキルアップを支えて頂き、不安が少し軽くなりました。今から自信を持って、もっと頑張ろうと思っています。これからも宜しくお願いします。

愛知県 K施設 (インドネシア人)

国家試験問題が簡単に解けるようになった！！

答え 1、一番の心配事は、緊張して日本語を話すことができないことでした。小木先生と「100万人の日本語」のテキストで学んで、すごく分かるようになりました。

受験対策では、石井先生の顔を見ると、怖くて、厳しくて、いつも緊張ばかりしていました。質問に対して意味の違う事を答えると、先生に怒られてしまいました。しかし、途中から先生がだんだん優しくなって、勉強が面白くなりました。

答え 2、自分が準備していないので、いきなり勉強していない問題を先生から問題用紙をもらって、読んでみなさいと言われました。自分の間違いが多いので、先生から怒られると思っていました。事業団の問題は、いつも勉強した範囲から出たので、先生の勉強の仕方に驚きました。

答え 3、前は国家試験問題を読むことが難しかったです。先生が色々なテクニックを教えてくださいましたから、解きやすくなりました。鹿児島県 T施設 (フィリピン人)

総合問題を 2 分間で解けるようになった！！

答え 1、日本語学習も、受験対策学習も両方とも国家試験に役に立ちます。特に、日本語学習では、日本語能力試験問題の文書が分かり、答えられるようになります。受験対策は、国家試験問題を解く時に本当に役に立ちます。キーワードを見つける勉強の仕方を教えてくれるので、すぐに答えられるようになりました。

答え 2、キーワードの見つけ方を教えてくれたことがビックリしました。キーワードは一つだけではなく、二つあったりします。

答え 3、以前は問題を解けば、分かったと思っていました。しかし、今は時間を気にして、「総合問題」1問を2分間で効率よく解けるようにすることが大切だということを教えてもらいました。

山梨県 M施設 (インドネシア人)

確実に合格させるための方法とは？ 【三か年学習計画】が有るか、無しかで全てが決まる

★【受験者の声】を読めば、「受験対策内容」がよく分かります。特に入職直後から到達度試験に参加した受験者は、今まで全員合格できています。その根拠となるものは、「合格するノウハウ」が確立されており、その結果、全員合格を果たしているのです。

★到達度試験に参加する時期は、「二年目・三年目・足切り」であっても参加できますが、遅くなればなるほど、【受験対応能力・合格能力】が薄くなります。

★「三か年学習計画」を持つか持たないかで、人材育成の成果が決定されます。是非、上記の【受験者の声】を貴法人の受験者の「構文能力」と、比較してみてください。その違いがよく分かります。

★ 受験者にも渡して、必ず「読み聞かせ」をして下さい。

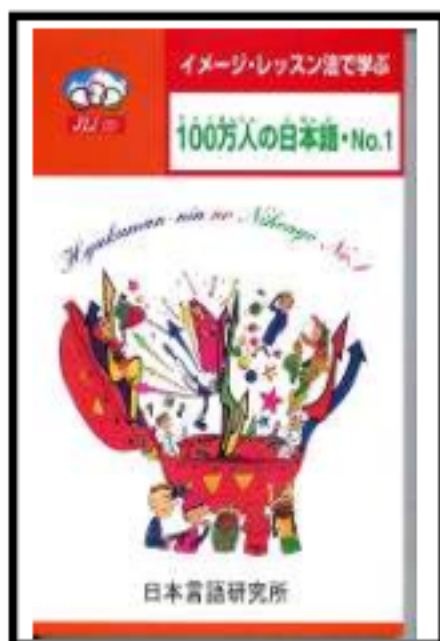
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・電話の両い合せ
ことばの研究所
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

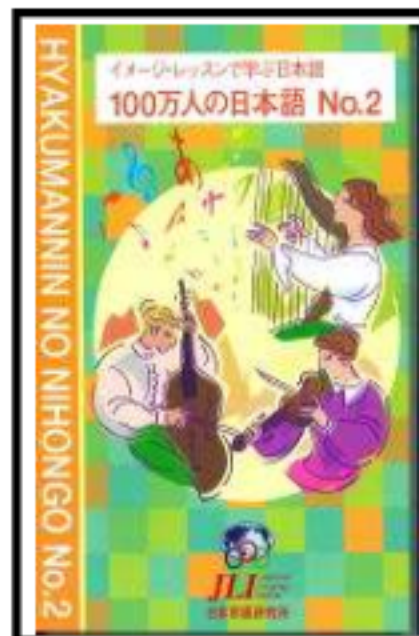
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～640 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

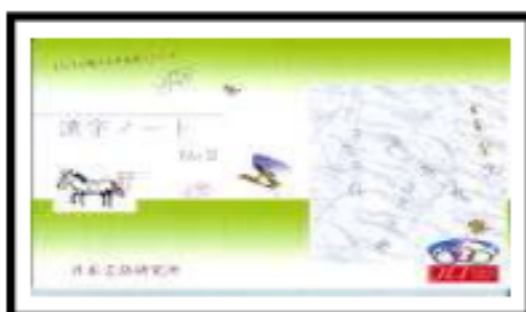
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かき (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約能力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		